

農作物病害虫発生現況情報（7月） ねぎ編

1 さび病

- (1) 7月上旬の巡回調査では、発生圃場率は70.0%（平年22.0%）であり、平年より高かった（図1）。
- (2) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年34.0%）であり、平年よりやや高かった（図2）。

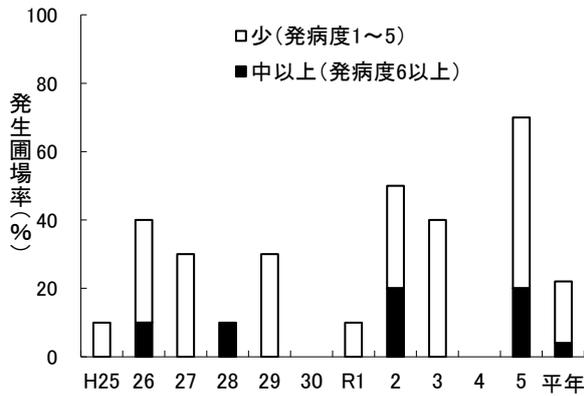


図1 さび病の発生圃場率の年次推移（7月上旬）

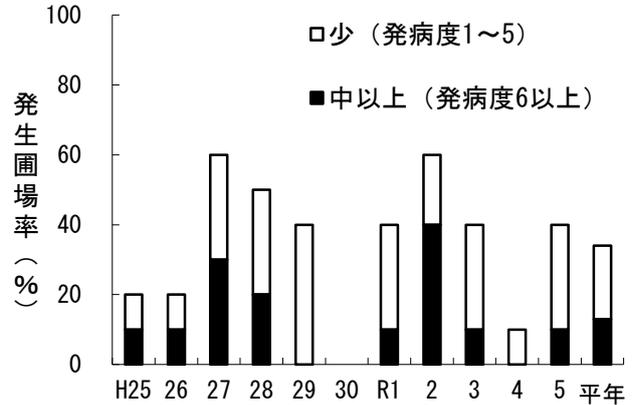


図2 さび病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

2 べと病

- (1) 7月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年17.0%、図3）。
- (2) 巡回調査地点以外の圃場では発生が確認されている（各農業改良普及センターからの報告より）。

3 黒斑病・葉枯病

- (1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は50.0%（平年39.0%）であり、平年よりやや高かった（図4）。

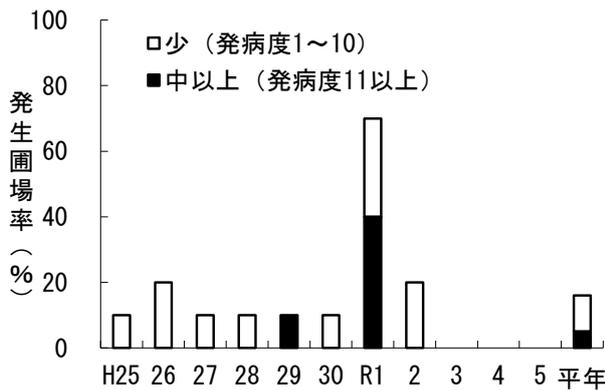


図3 べと病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

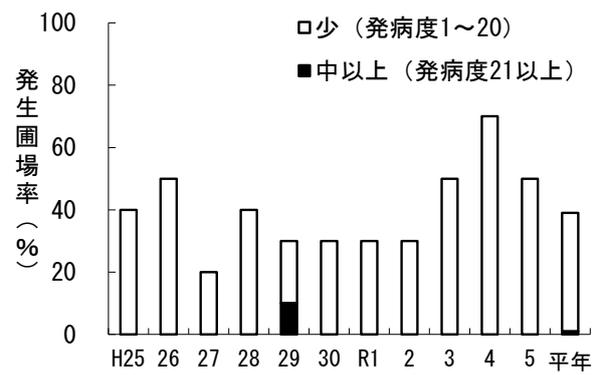


図4 黒斑病・葉枯病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

4 ネギコガ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年 32.0%）（図5）。

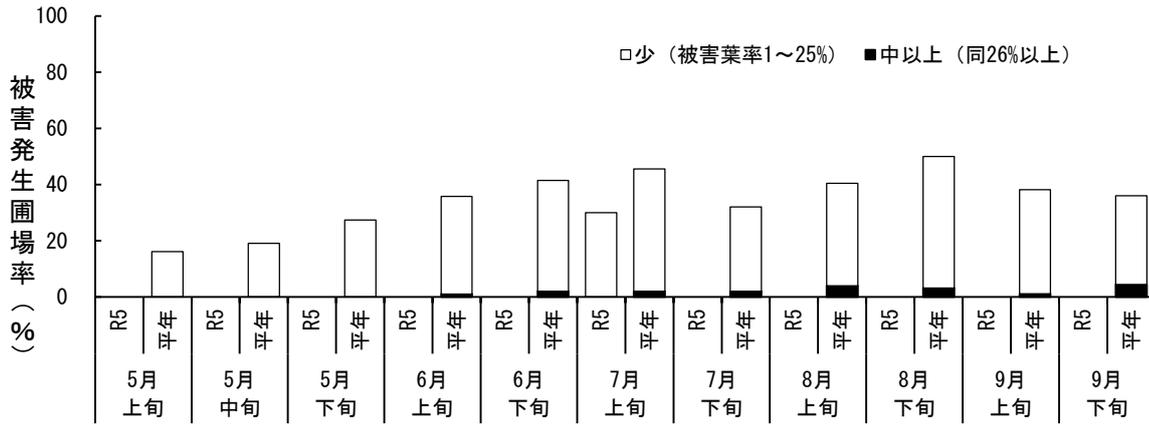


図5 ネギコガの発生圃場率の時期別推移

5 ネギハモグリバエ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年 62.8%）で平年より低く、被害程度中以上の圃場は確認されなかった（平年 20.4%）（図6）。

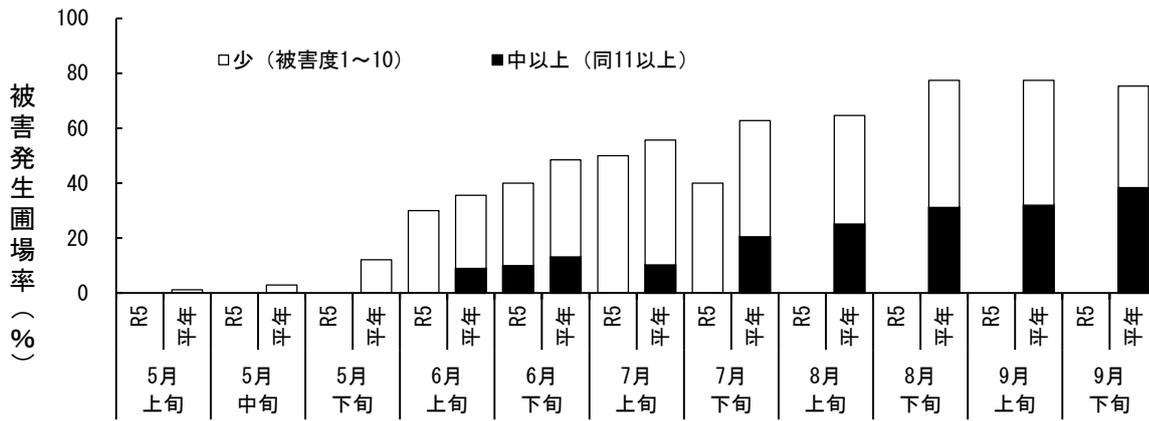


図6 ネギハモグリバエの発生圃場率の時期別推移

6 ネギアザミウマ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は80.0%（平年 93.8%）、被害程度中以上の圃場率は30.0%（平年 50.8%）であり、ともに平年よりやや低かった（図7）。

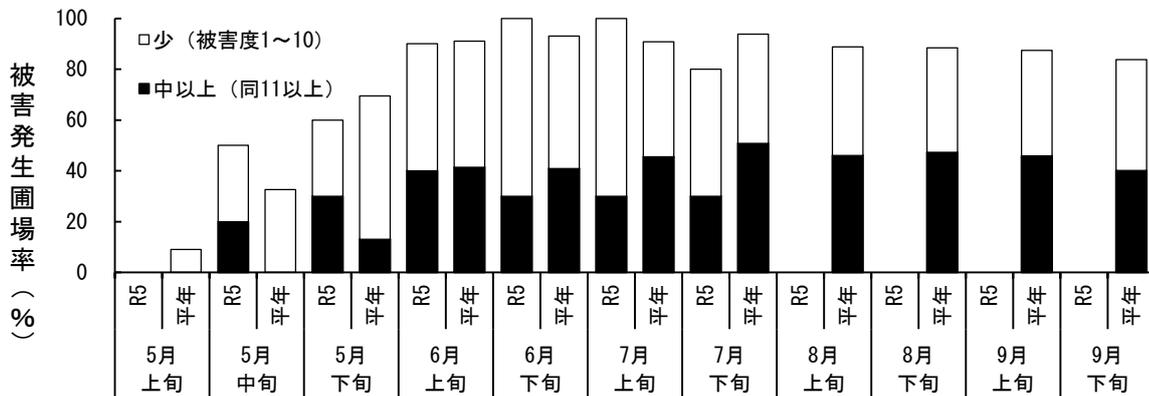


図7 ネギアザミウマの発生圃場率の時期別推移